

特集 ● 都市基盤の整備 《交通》

● 仙台市電、昭和を走り続けた50年



昭和25年に完成した仙台駅舎 (資料提供：河北新報社)
昭和25年に完成した2階建ての駅舎。GHQ仙台駅鉄道司令部が置かれていた写真左奥の建物は前年に正式返還され、1、2等待合室として開放されました。



仙台駅前を走る市電
仙台駅前～大町一丁目、東五番丁～荒町間で営業を開始。その後長町、八幡町、北仙台、原町の各線が延長され、総営業距離は約16kmに及びました。

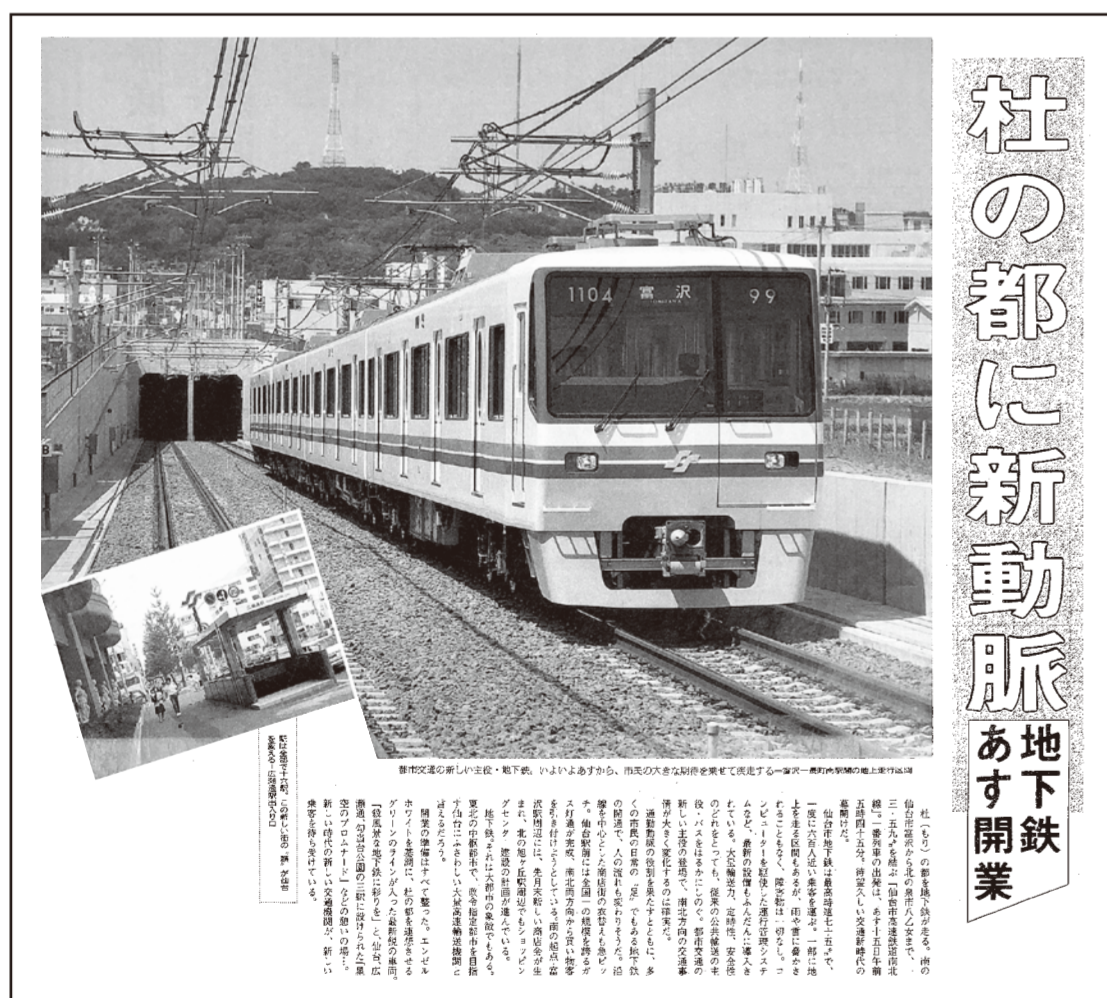


仙台市電さよなら運転
自動車の普及に伴う交通環境の変化によって、昭和51年3月に全ての路線が廃止。仙台市役所前で盛大なお別れ式が行われました。



仙台市電保存館 (資料提供：仙台市電保存館)
大正末期から半世紀にわたって市街地を走り続けた市電の姿を後世に伝えるため、平成3年に地下鉄富沢車両基地内に開館しました。

● 昭和62年、仙台市地下鉄南北線の開業



地下鉄南北線開業
昭和62年 1987年7月
将来の都市の発展を見越し、昭和56年に着工。62年に八乙女～富沢間が開業し、平成4年に泉中央～八乙女間が延伸しました。

● 平成27年、仙台市地下鉄東西線の開業

地下鉄東西線開業
平成27年 2015年12月
仙台市で2路線目の地下鉄として、着工からおよそ9年をかけて開業。東日本大震災に伴う工事の中断を乗り越え、八木山動物公園駅～荒井駅間を約26分でつないでいます。



● 昭和17年、仙台市営バス営業開始



昭和20年代の仙台市営バス
大正8年からバス事業を続けていた仙台市街自動車株式会社を市営化。昭和17年に運行を開始。



昭和20～30年代の仙台市営バス
現在では見ることなくなったボンネットバスが市内を走っていました。



昭和40年代の仙台市営バス
車体中央のラインは赤、黄、白などに色分けされて描かれていました。



平成11年一ぶる仙台運行開始
(資料提供：仙台観光国際協会)
市内中心部の観光スポットを巡る循環バス。レトロなデザインが観光客にも人気です。



平成11年発行のバスカード
バス専用の磁気カードとして普及。ICカードiCscaの導入に伴い平成28年にその役割を終えました。



● 空と海の玄関口、昭和30～40年代に整備

仙台空港開港
昭和32年 1957年
GHQから返還された「矢ノ目飛行場」を「仙台飛行場」として開港。空路を拡大し、昭和39年に「仙台空港」と改称しました。



仙台港開港
昭和46年 1971年
昭和39年に新産業都市「仙台湾地区」の指定を受け、開発がスタート。現在では東北地方における流通拠点港湾としての役割を担っています。